

令和7年度岐阜県博物館協議会議事要旨

1 日 時

令和7年11月26日(水) 13:30~16:00

2 場 所

岐阜県博物館 講堂

3 協議会委員

小野寺茂樹、春日井恵子、勝野絵里奈(欠席)、亀谷みゆき、楠田哲士(欠席)、清水啓子
高野裕行、谷重耕平、辻公子、長屋メイ子、渡部圭、古川秀昭

4 開 会 (山田学芸部長)

- ・委員12人中10人出席=成立
- ・名簿訂正(亀谷みゆき 元教授→客員教授)

5 挨 拶 (梅本館長)

- ・本日はありがとうございます。
- ・来年、開館50周年、これまで、調査研究、展示、教育普及活動に取り組み、340万人の来館者をお迎えした。
- ・施設の老朽化という課題があり、メンテナンスに多大な労力を要する。レトロ感のある展示もよいと感じている。県内唯一の総合博物館として今後も活動していきたい。
- ・さまざまな立場、専門の立場から今後の博物館運用に対する忌憚のない提言をお願いしたい。

6 議 事

(1) 会長挨拶(古川会長)

- ・博物館に車で来たが、紅葉が散る中、歩いてきても気持ちがよい。今日はよい意見を言ってほしい。
- ・来年度で50年を迎えるということだが、オープニングは熊谷守一展だった。展示を見た直後の時期に県美術館の準備室に採用された。学芸員資格がなかったので佛教大学の通信教育で取得した。守一は思い入れがあって、71歳の時に本(註『熊谷守一 目に見えないものを』2019.ミネルヴァ書房)を書いた。
- ・博物館の展示を見て、ものの考え方やいろいろ示唆を受けた方がたくさんいると思う。今日は皆様からいろいろ意見を伺いたい。
- ・博物館の現状等の報告をお願いします。

(2) 報告事項(山田学芸部長)

- ・資料1に基づき、岐阜県博物館の現状と実績を報告。当館の入館者は平均7万弱で、県立館全国平均よりやや少ない。停電の影響で中止延期となった展示がある。
- ・昨年度の協議会での意見への応答
 - ① 職員研修の充実→解説員向けに百年公園の植物観察等の研修を実施した。
 - ② デジタル化への対応→デジタル業務専門職を3年前に採用し、こどもミュージアムや恐竜の切り絵などのデジタルコンテンツを整備公開した。令和4年度に改正された博物館法への対応もある。
 - ③ 県内各地での博物館活動の取り組み→協議事項で詳しく説明。

《質疑応答》

◎古川会長

- ・本当にいろいろなことをやっている。質問はいかがですか。

◎谷重委員

- ・いろいろなことをやっていて感心したが、大規模停電について、よかったです。2か月休館していたが大丈夫なのか。

◎事務局

- ・百年公園北口に埋設された高圧電線が切れた。休園中に電線を交換し、直接の修繕は完了している。当館も公園も50年近く経過しているので、メンテナンスはより丁寧に実施しなければならない。

◎古川会長

- ・神奈川では川崎市民ミュージアムの収蔵庫が内水氾濫で被害を受けた。県美術館ではカラスの巣が原因で停電したことがある。2か月で解決しよかったです。

◎事務局

- ・最初は復旧に半年かかるということであったが、県庁に尽力いただき、早く電線を調達できた。

◎辻委員

- ・収蔵庫の温湿度の状況はどうなのか。

◎事務局

- ・温度はかなり上がったが、湿度は除湿剤を入れて対応。資料を移動させることも考えたがエレベーターが動かないで、毎日、資料確認を行った。資料への被害は動物の剥製にカビが発生したがアルコールでふき取ることで対応した。

◎古川会長

- ・県美術館には停電時に8時間稼働する非常用電源がある。通常の停電あればこれで対応できるが高圧電線が切れると難しい。

◎事務局

- ・高温でナフタレンが気化した。

◎古川会長

- ・三重県には新しい博物館ができ、こちらは50年。格差を感じる。
- ・岐阜県美術館は三重県美術館と同じころ開館。設計途中で三重のほうが少し大きいことが分かり、岐阜県美は面積を少し大きくした。
- ・議題の説明をお願いします。

(3) 協議事項

◎山田学芸部長

- ・資料2、付図1に基づき、「これから岐阜県博物館全県展開について」を説明。
- ・岐阜地区は県図書館に代わり木遊館で実施予定。
- ・関市などとの官衙遺跡に関する連携展示。昨年、会長が特定の人しか受けない展示があつてもよいと励ましの言葉をいただいたが、これがそうかもしれない。
- ・以前から課題になっている東濃地区での展開→旧岩村庁舎を資料館にするにあたり、館の機能が違うかもしれないが、教育普及活動や民間連携など当館のノウハウを検討会でお伝えした。
- ・博物館関係者に当館の全県展開について紹介→博物館改正のポイントにも合致し、好評を得た。
- ・当館の全県活動は9年を経過。次にどのような展開があるのかご意見を伺いたい。

《質疑応答》

◎古川会長

- ・いろいろやっています。地域のマスコミとの連携も大事だと思いますが、いかがでしょうか。

◎渡部委員

- ・岐阜に来たばかりで分からぬですが、何か連携しているのでしょうか→通常は中日新聞・岐阜新聞と毎年、ひとつずつ特別展で連携している（事務局）。
- ・相談いただければ、展示など、いろいろ連携できる。
- ・初めて来館したが、なんでこのような山の上に博物館があるのか分からぬ。現在のユニバーサルデザイン社会の観点からもめずらしい。三重県でも委員をしていたが、ジブリ展で20~30万人の来館者を得た。話題性のある展示ばかりやればよいということではないが、県外からも来館があり、存在を知つていただくことができる。来館しにくい施設ということで、全県展開を頑張っているのは分かる。入館者ことを気にするのであれば、展示の内容は重要。
- ・みえむではPRが行き届かないという問題があると言っていた。新聞社として協力できることがあれば相談ください。

◎小野寺委員

- ・取材では学芸員へのインタビュー等を放映し、専門家の話をわかりやすく伝えることにご協力いただいている。
- ・さまざまな分野にまんべんなく注力するより、力を入れる分野を決める。例えば刀剣などのVRを中部国際空港や高山市など人が滞留する場所で見られるようにする。時間を持て余している外国人観光客などに見てもらえる。
- ・他県の博物館とのコラボなど遠い地域との連携も考えて欲しい。
- ・大河ドラマなど、連携できるものがあればお互いにアイデアを出していきたい。（墨俣一夜城、清洲会議など）

◎古川会長

- ・連携相手もメリットがあるものがよい。熊谷守一氏長男から寄贈を受けた日記を歴史資料館の職員に読み下していただき、多くのことが分かった。
- ・博物館と連携した相手にとっても重要な活動になる。

◎清水委員

- ・10年近くサポーター活動をしている。活動の種類が増えたため来館する機会が増え、サポーター同士で交流したり、学芸員と話をしたりすることで、余裕をもって子供に接することができる。民間商業施設、わくわく、けんぱく教室などたくさんの活動をやっている。今まででは、お子さんの活動を見ている大人が多かったが、一緒にやる人が増えてきた。博物館の行事として行っているもので、担当の工夫でタイトルを変えただけで、大人が集まる講座になった。子供向けでも大人だけで楽しむ場合もある。
- ・参加される方の年齢層やリピーター率が分かるとよい。

◎古川会長

- ・アンケートは？→各催事でとっている。サポーターは10代から90代まで約100名。（事務局）

◎春日井委員

- ・来館せずにリモートで学習。もう少し周知できるとよい。
- ・熱中症対策で運動会の時期がずれてきている。バスの手配が難しくなり、外に行きにくくなっている。9月や12月に博物館で活動できる内容があるとよい。展示だけでなく、講座ができると利用する学校が増えると思う。
- ・地方の資料館施設は疲弊している。子供たちが来た時に県博物館の学芸員に来ていただき、解説等していただければありがたい。

◎長屋委員

- ・11月1日が園の運動会であった。6月から9月、外で活動が難しいので、室内で活動できる場所を探している。暑い時期の学びに博物館が利用できるとよい。
- ・昨年行ったポケモン展のように、足が向かない人には話題性のある展示が有効。
- ・マイミュージアムで時々実施されるが、ていねいな手仕事の展示に共感。
- ・茶の湯はいろいろな展開が可能で世界が広がる。

◎高野委員

- ・植物の研究をしている。昔の植物担当に、この博物館は建物が六角形なので増築が簡単だと聞いた。押し葉標本を収蔵するスペースが手狭になってきた。標本は証拠として大事なものなので、どんどん収蔵してほしいし、施設を拡充してほしい。研究している人の年齢が上がってき、ここに来るのが大変になっている。

◎辻委員

- ・設置目的が岐阜県のということなので、難しいかもしれないが、ポケモン展のように吸引力のある展示を混ぜるとよい。
- ・百年公園と連携して、公園の地形を生かしたイベントをするとよい。

◎亀谷委員

- ・岐阜県唯一の総合博物館で、入館者も毎年一定数実績を上げていることに敬意を表する。協議会の意見を真摯に対応していただけるので素晴らしい。
- ・子供が小さいころにつくったアンモナイトのレプリカに色を塗ったものを保管していたが、先日、子供が孫に博物館でつくったことを説明していた。このように学びが循環していくことを望む。

◎古川会長

- ・予算はどうなっていますか。

◎市岡課長（文化伝承課）

- ・岐阜県は財政が厳しい。
- ・50周年で、多くの入館者を見込んだ話題性のある展示を計画し、2本立ての特別展を開催する予定。

◎古川会長

- ・本来は入場料を取ってやるのは間違い。
- ・アンケートにあるような内容の展示を必ずしもやる必要はない。
- ・本当に県民が見たかったものをやってほしい。
- ・50周年期待している。

◎谷重委員

- ・商業施設で実施している全県展開事業について、体験行事は有料ですか。→材料費をいただき、友の会が運営している。（事務局）
- ・こうした体験行事で、SNSに登録していただいた方を安くしたり、ノベリティを渡したりするなど、囲い込み、ダイレクトにつながるとよい。発信する相手ができ、企画展等の周知に利用できる。
- ・岐阜県は道の駅の数が多いので、PRに活用することで、車利用者にアピールできる。
- ・福井と周遊できるよう近隣県と広域共同企画を考えるとよい。
- ・50周年はニュースになるので、県庁1階ロビーで展示をするとよい。

◎渡部委員

- ・友の会報とは。→友の会向けの会報。一般向けのものではない。一般向けには展示に着目したチラシのみ作成。**(事務局)**
- ・三重県総合博物館の広報誌はカラーでよくできている。写真の配置等工夫し、一部カラーにしてはいかがか。
- 友の会報は県ではなく、友の会が独自の予算で作成するものであるが、ご指摘の趣旨はお伝えする。**(事務局)**
- ・今度名古屋で開催するゴッホ展は人気がある。入場料だけなくグッズの売り上げも重要。東京展では、グッズ制作会社を変えただけで、グッズの売り上げが大幅に伸びた。

◎古川会長

- ・岐阜県の施設はいい意味で何かのついでではなく、わざわざ出向くところにある。

7 閉 会

◎近藤人文係長・説田自然係長

- ・来年度の展示概要の説明

◎山田学芸部長

- ・閉会あいさつ。